

## 進行再発子宮体癌に対するペムブロリズマブ・レンバチニブ併用療法 に関する調査研究

### 1. 研究の対象

2022年1月1日から2023年12月31日までの期間に、進行再発子宮体癌に対する薬物治療として東北婦人科腫瘍研究会参加施設（秋田大学医学部附属病院）でペムブロリズマブ・レンバチニブ併用療法を行った方

### 2. 研究目的・方法

#### 研究目的

進行再発子宮体癌に対し、ペムブロリズマブ・レンバチニブ併用療法を行った症例の調査研究を行い、治療効果、安全性、および予後を明らかにします。

#### 研究方法

以下に記されている調査項目について、秋田大学医学部附属病院の電子カルテを用いて情報収集を行います。

研究実施期間：研究機関の長の実施許可日から2025年12月31日

試料・情報の利用及び提供開始予定日：2025年3月13日

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

臨床診断、年齢、病期、病理組織型、抗がん剤治療歴、治療開始時の血清腫瘍マーカー、初回治療日、再発診断日、治療日、合併症/有害事象、治療コース数、治療期間、抗腫瘍効果、再発の有無（有の場合は再発様式）、再発確認日、生存の有無、後治療の有無、後治療レジメン、後治療の治療効果、最終生存確認日 等

### 4. 外部への試料・情報の提供

情報は個人が特定できないように氏名等を削除します。データはエクセルに入力し電子媒体（パスワード付きUSB）に保存します。書留郵便にて研究事務局である岩手医科大学産婦人科学講座へ郵送後、同講座医局内の保管庫にて鍵をかけて保管されます。対照表は、当院の研究責任者が保管・管理します。

## 5. 研究組織

研究代表者：岩手医科大学産婦人科学講座 利部正裕

研究施設：東北婦人科腫瘍研究会参加施設

弘前大学産婦人科 教授 横山良仁

秋田大学産婦人科 講師 牧野健一

東北大学婦人科 准教授 重田昌吾

東北医科薬科大学 教授 徳永英樹

福島県立医科大学 教授 添田周

山形大学産婦人科 教授 永瀬智

宮城県立がんセンター婦人科 診療科長 海法法子

北海道大学産婦人科教授 渡利英道

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

秋田大学医学部産婦人科学講座 牧野健一

〒010-8543 秋田県秋田市本道1丁目1番1号

TEL：018-834-1111（内線6163）

FAX：018-884-6772

E-mail：makinok@doc.med.akita-u.ac.jp

研究責任者：

秋田大学医学部産婦人科学講座 牧野健一

〒010-8543 秋田県秋田市本道1丁目1番1号

TEL：018-834-1111（内線6163）

FAX：018-884-6772

E-mail：teraday@doc.med.akita-u.ac.jp

研究代表者：

岩手医科大学産婦人科学講座 利部正裕

〒028-3695 岩手県紫波郡矢巾町医大通二丁目1番1号  
TEL : 019-613-7111 (内線 3769)  
FAX : 019-907-6729  
E-mail : mkagabu@iwate-med.ac.jp

試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称：  
国立大学法人秋田大学大学院医学系研究科  
研究科長 羽瀨 友則